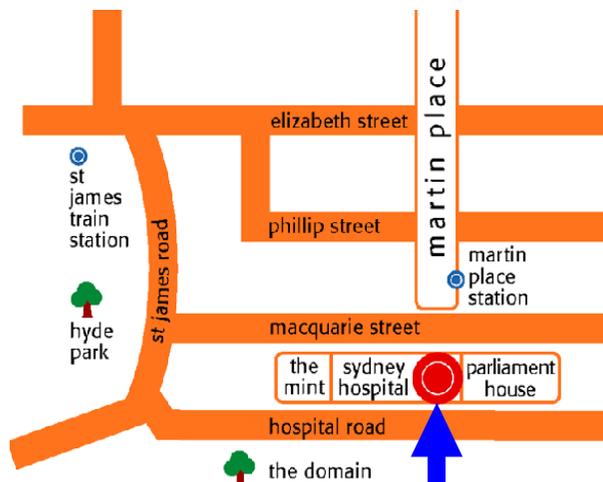


Sydney Sexual Health Centre



シドニーセクシャルヘルスセンターは、性の健康管理に役立つ総合的サービスを無料かつ秘密厳守で提供しています。当サービスセンターは、HIVやB型肝炎等の性感染症の検査・ワクチン・管理の他、男女各々特有の性のヘルスケア、教育、個人やカップルのカウンセリング、注射器や針の交換等のサービスを通じて、皆様の性の健康をサポートします。当サービスセンターは、男女両性の医師、看護師、カウンセラーを揃えており、全員が来院者のライフスタイルとセクシュアリティを理解し尊重します。

メディケアカードは不要です

利用時間:

月、火、木、金曜日 午前10時から午後6時
水曜日 午後2時から午後6時

電話: (02) 9382 7440

1800 451 624 シドニー以外からのフリーダイヤル

インターネット:

www.sesahs.nsw.gov.au/sydhosp/SSHC.htm

NSW/ACT セクシャルヘルスサービス

無料で秘密厳守のセクシャルヘルスケア

Albury	電話: (02) 6058 1840
Armidale	電話: (02) 6776 4738
Bourke	電話: (02) 6872 2145
Broken Hill	電話: (08) 8080 1556
Canberra	電話: (02) 6244 2184
Coffs Harbour	電話: (02) 6656 7865
Dareton	電話: (03) 5021 7200
Dubbo	電話: (02) 6885 1700
Forster	電話: (02) 6555 6822
Gosford	電話: (02) 4320 2114
Goulburn	電話: (02) 4827 3913
Griffith	電話: (02) 6966 9900
Katoomba	電話: (02) 4784 6560
Kings Cross	電話: (02) 9360 2766
Kogarah	電話: (02) 9350 2742
Lightning Ridge	電話: (02) 6829 1022
Lismore	電話: (02) 6620 2980
Liverpool	電話: (02) 9827 8022
Manly	電話: (02) 9977 3288
Marrickville	電話: (02) 9560 3057
Mt Druitt	電話: (02) 9881 1733
Newcastle	電話: (02) 4923 6909
Nowra	電話: (02) 4423 9353
Orange	電話: (02) 6392 8600
Parramatta	電話: (02) 9843 3124
Penrith	電話: (02) 4734 2507
Port Kembla	電話: (02) 4276 2399
Queanbeyan	電話: (02) 6298 9233
Richmond	電話: (02) 4578 1622
St Leonards	電話: (02) 9926 7414
Sydney City	電話: (02) 9382 7440
Tamworth	電話: (02) 6766 3095
Taree	電話: (02) 6592 9421
Wagga Wagga	電話: (02) 6938 6492

Japanese
2004
[SSH-6405]

want to know
more about

詳しく知りたいですか

骨盤内炎症性疾患

PELVIC

INFLAMMATORY

DISEASE



SYDNEY
SEXUAL
HEALTH
CENTRE
SSHC

PID とは？

PID は *Pelvic Inflammatory Disease* (骨盤内炎症性疾患) の略であり、女性の子宮、卵管、卵巣に発生する感染症です。

PID の原因は？

30 歳未満の女性には、PID はクラミディアを原因として発生することがよくあります。クラミディアは性行為感染症のひとつで、子宮頸部から発生し、子宮内や周辺の骨盤部分の器官にまで拡大することもあります。あるいは淋病や通常膣に生息する細菌等の細菌を原因とすることもあります。クラミディアの既往歴がある場合には、将来 PID にかかる可能性が高くなります。

PID は、中絶やその他の手術後に発生することもたまにあります。

PID の感染の有無を確かめるには？

PID にかかると下腹部や骨盤の痛み、発熱、疲労感、膣から異様な帯下が出る等の症状を経験することがあります。他にも性交時の痛み、性交中や生理中の異常な出血等の症状もあります。

PID にかかった女性の多くは、数週間もしくは数カ月に渡り軽い症状を経験するのみで、症状は本人も気付かないうちに消失することもよくあります。

PID の検査方法は？

最寄りの医師もしくは、セクシャルヘルスクリニックをお訪ね下さい。

PID 専用の単独の検査はありません。上記の症状のいずれかを経験する際には、医師による検診を受け、クラミディアやその他の感染症の検査を受けるべきです。さらに医師は、骨盤器官の圧痛を調べる膣の検査も行うはずで

これらの検査結果が判明する以前でも、医師が検診を元にして PID の治療を勧めることもよくあります。

治療法はあるの？

PID の治療には 2 種類以上の抗生物質を組合せて使用します。また治療期間は最低でも 14 日かかります。

パートナーも治療が必要？

過去 6 ヶ月の間にコンドームを用いずに性交を行なった場合には、その相手に伝えて、相手もクラミディア（およびその他の感染症）の検査を受け、**症状の有無や検査結果にかかわらず、治療を受ける**べきです。

PID の合併症は？

いったん PID にかかると、異所性妊娠（子宮でなく卵管で起きる妊娠）、（卵管の傷による）不妊症や慢性的な骨盤の痛みを患う確率が平均より高くなります。

PID に再度かかると、これらの問題が発生する確率は倍増します。よっていったん感染したら、適切な治療を受け、骨盤部の更なる感染症の発生を防止することが大切です。

PID の予防方法は？

PID は以下の方法で予防可能です。

- ★ 新しいセックスの相手とは誰であれコンドームを使用する。
- ★ 最近パートナーが変わった場合には、医師によるクラミディアの検査を受ける。
- ★ 骨盤の異常な痛み、異様な帯下や出血がある場合には、医師にすぐに診てもらおう。
- ★ 再感染を防ぐために、セックスの相手も適切な検査を受ける。

他に知っておくべきことは？

- ★ PID の治療を受ける際は、与えられた抗生物質を全て服用して下さい。たとえ症状が改善しても、治療が完了するまでは病気自体は完治していないこともあります。
- ★ 女性の場合、抗生物質の服用開始後少なくとも 14 日間は性交を避けて下さい。再感染防止のためにセックスの相手が治療を受けた後の 1 週間は特にこれを守って下さい。
- ★ 女性はフォローアップのために必ず医師の再診を受けて下さい。これは病気が回復に向かっているということと、相手も治療済である旨確認し、さらには新たな問題が発生していないことを確認するためです。

注意：一部の抗生物質は経口避妊薬の効果を消失させることがあります。避妊薬を服用中の女性は、抗生物質による治療中およびホルモン剤服用後 7 日間に、セックスを避けることができれば、必ずコンドームを使用して下さい。